



## 資料館 だより

No.10  
2007年  
1月号

あおぞら財団附属のエコミューズは大気汚染公害問題資料、西淀川地域資料などを所蔵しています。ぜひ、ご利用ください。

場 所: あおぞらビル5F  
利用時間: 月曜日と金曜日 10:00-17:00  
(12:00-13:00 休み、祝日休み)

### エコミューズ所蔵資料の電子化スタート 写真や機関紙、チラシを電子化しています

エコミューズの書庫には、ダンボール箱 230 個分の資料がつまっています。それ以外にも裁判資料 266 冊や開架図書約 4 千点があります。資料を永く保存するため、多くの人に見てもらうため、以前から資料の電子化が課題の一つでした。そして 06 年度から（独法）環境再生保全機構からの受託業務として、大気汚染公害資料の電子化に取り組めるようになりました。11 月から撮影や電子ファイルの作成作業がはじまっています。1 年目は写真や機関紙などを対象資料として選びました。お披露目できる日も近いと思いますのでご期待ください。

### エコミューズ来館者 400 人突破 海外からも多くの見学者

秋はイベントの季節です。たくさん  
の見学者が来館しました。



環境省職員研修 現地調査  
(西淀川公害医療センター)

小学校の先生の研究会である西淀川区社会科研究会、国土交通省近畿地方整備局、各国で公害対策を担当する行政職員が学習する「IICA 集団研修、環境省職員環境問題史現地調査、韓国の環境 NPO であるグリーンコリアと、国際的です。



IICA の研修

小学校の先生からは「西淀川区に鼻血を突然だす子どもが多いのは大気汚染と関係があるのか」といった疑問や、行政職員からは「紙の上で知っていることと、肌で感じることは違う」という感想、「IICA の研修では手軽にできる大気汚染物質二酸化チッソカプセル測定の方法の質問など、いろいろな切り口の質問を受けました。

エコミューズが公害問題解決につながる場となり、エコーのように広がっていくのが私たちの願いです。

### 第 31 回 西淀川地域研究会 (11 月 15 日開催) 永大石油の跡をたずねる 西淀川公害 住民運動の出発点

公害がはげしかった 40 年前、大阪府の職員として公害の規制を担当していた吉田誠宏氏から当時の様子を聞きました。現在、大野せせらぎの里



当時の地図で工場場所を確認  
(西淀川高校 環境教育資料室)

となっている場所に「永大石油鉱業」という廃油処理工場がありました。昭和 44 (1969) 年、工場から排出される煙が一夜にして出来島団地のアサガオを枯らしてしまい、住民から苦情が続出。大阪府は亜硫酸ガスを測定、府の事業所公害防止条例にもとづき初の改善命令を出しました。隣の自動車工場の壁に穴をあけて亜硫酸ガスの測定したこと、改善命令を受け取ってもらえなかったことなど、行政職員ならではの苦労話がありました。

現地を歩くと 40 年前と様変わりしており、どこが工場跡地なのかを特定することが困難でした。吉田氏の話から永大石油問題は住民と行政が手を取り合って公害を改善したことが見えてきました。まさしく西淀川公害反対運動の出発点です。

### 地域資料ソサ第 9 回準備研究会 (12 月 15 日開催) 高野山大学所蔵の古地図 デジタル技術に驚き

「デジタル技術を利用した歴史資料活用の試み 高野山大学を事例として」をテーマに同大学の藤吉圭二氏から報告がありました。高野山大学が所蔵する古地図をデジタル化した映像を大画面で見ることができ、デジタル技術の有効性を実感しました。また、多くの人の協力を得ながら事業を進めていくことで可能性が大きく広がることがわかりました。ネット上でも見ることができますので、ぜひどうぞ。 <http://da.koyasan-u.ac.jp/>

## 所蔵資料紹介 10 西淀川公害患者と家族の会資料

### 毎週木曜日 淀屋橋で配ったピラ 西淀川公害訴訟原告団弁護団ニュース

「わかりやすいものはないですか？」とよく聞かれます。エコミューズの資料の中では、「機関紙」や「ピラ」がわかりやすい資料といえるでしょう。もともと、人に伝えるためにわかりやすく書かれているからです。

西淀川公害裁判では、原告である公害患者さんたちが1994年9月から1998年7月まで毎週木曜日に裁判所がある淀屋橋で早朝にピラを配り続けました。55号まであるこのピラは1995年の企業和解から1998年の

国・公団との和解にいたるまでの状況が記されています。裏面は患者さんが実名と写真入りで病状を訴えています。

これは多くの公害患者さんが実名や写真を公開しながらない中、特異なことです。その分、メッセージ性が強く、読み返すと涙することがしばしばあります。

現在、所蔵資料を電子化していますが、このピラも電子化される予定になっています。(林)



原告団弁護団ニュース

### やかた 館 訪問記

その10.  
大阪の懐かしい映像がインターネットで見られます  
「大阪市ニュース」に西淀川の姿を発見

大阪市ニュースは大阪府が昭和31年から45年までに制作した広報映像で、映画館などで放映していたそうです。「スモッグをなくそう」、「消えゆく市電」など高度経済成長期の街や暮らしを伝えています。このうちいくつかはインターネットで見ることができます。

そして発見しました。「進む幹線道路の建設」(昭和31年制作)には、あおぞら財団すぐ近くの歌島橋交差点の様子が映っているではありませんか。周りの建物はずいぶん今とは違いますが、五差路の大型交差点の構造は今と変わりません。自動車交通量の増加、大気汚染の悪化がこの頃から一段と進んでいくのです。(鎗山) <http://www.osaka-bbnet.jp/text/timetravel/>



現在の歌島橋交差点

### \*お知らせ\*

エコミューズ開館1周年記念イベント  
(仮称)西淀川・歴史まちあるき

日程：2007年3月25日(日)  
西淀川地域の歴史をいっしょに歩いて、見て、感じてみませんか？どなたでも参加できます。地域学習にもぴったりなので、親子での参加も大歓迎です。  
詳細はただいま企画中です



ということで、企画・運営に協力してくれるボランティアスタッフを募集しています。みんなで楽しい企画にいきましょう。

### エコミューズ ボランティア募集

1. エコミューズ開館1周年記念イベントのお手伝い  
<内容> 上記企画・運営のお手伝い。見どころ案内、資料・展示準備、広報等いろんな仕事があります。
2. 公害問題資料の整理  
<内容> 大阪から公害をなくす会から寄贈を受けた資料のデータベースを作成します。作業を通じて公害の歴史に触れることができます。

交通費 = 実費支給(上限1000円)  
どうぞお気軽にお問い合わせください。

### 編集後記

大阪市公文書館では11月5日から16日まで特別展示「高度経済成長期の大阪市政」を開催していました。「公害・環境問題への取り組み」コーナーには、エコミューズが所蔵している写真が展示されました。工場からの排煙が大阪の街を覆っている様子が写っています。大阪市公文書館との連携がこのような形で実現できてうれしく思います。

「資料館だより」No.10 2007年1月号  
(隔月1日、年6回発行)

発行所 あおぞら財団 西淀川・公害と環境資料館  
編集スタッフ 鎗山善理子、林美帆

連絡先 (財)公害地域再生センター(あおぞら財団)  
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4F  
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885  
Email: webmaster@aozora.or.jp  
<http://www.aozora.or.jp/shiryou>